

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		市道整備改良事業		担当課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち		計画期間
	施策	道路網・公共交通体系の整備		種別
	基本事業	未改良道路の整備		市民協働
予算科目コード		01-080202-01 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
道路の拡幅改良整備を求める意見や要望に対応するため。（排水施設含む）	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
生活に密着した道路を拡幅整備することにより、緊急車両等を円滑に通行させるとともに、交通の利便性及び居住環境の向上を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	4 m未満の市道を拡幅改良し車両交互通行及び道路排水の改善を図る為、用地買収，補償，設計，工事を計画的に実施する。
歩行者・自転車・自動車が快適に通行できるよう，生活道路の整備を進める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
市道整備の要望件数が多く，また，毎年要望があることから着手できない路線がある。整備路線の必要性和優先順位を考慮し，要望路線を計画的に整備していく必要がある。	4～6月 要望書の整理
	7～9月 着手可能路線の調査
	10～11月 整備計画作成
	2～3月 着手路線要望者への通知
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
現在ある拡幅要望を基に，財政計画を見据えた整備計画を立てる。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐増加 ☒維持 ☐削減	拡幅要望に対応するため，継続的に実施していく必要がある。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度 of 取組（評価、課題への対応）
限られた予算で要望箇所の整備を計画的に進められた。	要望箇所のうち、優先順位の高い路線の整備を実施した。また、冠水対策のための設計等を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
道路改良率（道路台帳総括表）（％）	67.85	68.95	69.25	70.60	71.70
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	要望を受けた路線を順次計画的に実施することで、交通安全の確保及び居住環境の向上が図られた。今後も、要望路線の優先度を判断しつつ、計画的に進めていく。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 ■ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	市の財政計画を見据え、要望路線の整備の必要性を考慮した整備計画を定め、毎年度の予算の範囲内で順次に実施していく。			

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	209,180	121,992	114,998	227,788	179,855
	国・県支出金	6,400	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	25,511	5,680	0
	一般財源	202,780	121,992	89,487	222,108	179,855
正職員人工数（時間数）		0.00	3,250.00	2,713.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	13,325	11,123	0	0
トータルコスト		209,180	135,317	126,121	227,788	179,855